

会員数(58・2現在)

逗子地区 144名

葉山地区 291名

大船地区 63名

合計 498名

碩心会月報

認可 日本詩吟学院岳風会 発行
神奈川 碩心会 発行

58・2月

第127号

発行 者

根 岸 岳 草

編 集

中 村 愛 岳
岩 崎 恵 岳

私の詩吟

逗子A支部 綾部 秋風

子供二人を残され、途方にくれ
 どう生きようかと考え、とむず
 しくなりがちの気持ちはどうす
 ることもできず迷っていたある日、
 私をみかねて詩吟でも始めてみま
 せよかと誘われ、始めはさんまに
 乗り気でもなかつたのですが、多
 くの友達と接すること、何とか
 気持ちになごむのではなにかと思
 い通いはじめた。もう十三年も過
 ぎてしましました。

先生の熱心な御指導を受けなが
 ら、なかなか実力が伴わず、申し
 訳ないと思っております。でも先
 生がハフモ口にされる人の和とい
 う、秘のまじり及感じております。
 子供達もそれぞれ独立し、多く

の方達と接すること、不幸なのは
 私だけではな、不幸を幸いに導く
 道も教えられる、おかげで元気に毎日
 を過しております。

一週一度のお稽古を楽しみに、ま
 すます吟の深さを味わいながら、か
 んばってゆきたいと思っております。

上期審査会

と き：3月20日(日)10時開始
 と ころ：葉山・森戸公閉堂

（海岸廻り葉山行バス
 森戸神社前下車）

審査料：600円(改訂)当日迄に許証部へ
 許証料：3月末日迄に許証部へ

高役者許証料も審査終了後
 なるべく早く納入下さる様

第9回全国選抜者吟道大会

神奈川・静岡地区予選会の実施について

一、地 区：神奈川・静岡

二、日 程：58年4月17日(日) 9時より受付

三、会 場：平塚農業会館

四、出場資格：中伝以上(既に入選してハてレ
コード吹込ずみの者は除く)
所属認可団体の長の推薦によるもの

五、吟 題：新敵本二巻の中より絶句一題

六、審査方法：総本部委嘱の審査員にて総本部
審査規定により行フ

七、予選通過者の発表：予選当日終了後会場にて発表
予選通過者には予選通過証授与

八、会 費：予選会出吟料は無料
交通費、昼食費等は各自負担

九、申込メ切：58年3月20日頃迄に地区長を通して

十、出場手続：申込用紙に該当事項記入の上
会長を通じ総本部企画部へ提出

第84回全国吟道大会参加吟行会

右大会が四国高松にて行われる事に決定、恒
例の県本部主催の参加吟行会が左記の通り行
われます。多数御参加下さいますよう

日 時：10月8・9・10・11日(三泊四日)
10月8・9・10日(三泊三日) 二本立て

旅行々程：金比羅宮、屋島、栗林公園、他

会 費：八万七千円(三泊四日) 積立方式
六万七千円(三泊三日)

申込メ切：三月十日

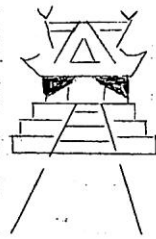
申込先：加藤岳相(支部毎にまとめて)
(尚詳細は加藤先生まで)

★ 準 師 範 認 許

左記の方々が1月30日の総本部の師範講習会
を終了して準師範を認許されました。

一 柳道風・小形雄山・行谷佳山

森戸明神



上期審査会場となる森戸公会堂のあるところ、森戸明神を来場の折尋ねてみては如何ぞしてお詣りしたらきつと合格間違ひなれども、数々の史蹟を尋ねるのも楽しく、又相模湾を一望に見渡すすばらしい風物も満足していただくと思ひます。

森戸神社：治承四年九月八日、源頼朝が三島明神の分靈を祀つたのが起りとわかれ、歴代の將軍はじめ、北條、足利氏等の崇敬も篤く、葉山郷の総鎮守社である。この辺りは鎌倉に近く、当時幕將達の遊樂の地であり、又練成の場でもあったと云う。

飛柏植：社殿の右側にあり町の天然記念物に指定されている。昔頼朝参拝の折、三島明神から種子が飛来し育ったと伝えられる。千貫松：裏手海辺は奇巖屹立の景勝地で、頼朝衣笠城へ向う折、この辺りで休息し、岩上

の松を嘆稱したところ、和田義盛が「吾菘（菘）はこれぞ千貫の値ありと云て千貫松と呼びて候」と答えたといふ。

尚境内には入澤謙吉帝大名嘗博士らの建立による、マルチーノ公使、ベルツ博士の顕彰碑、今上踐祚五十年記念碑、明治天皇、昭憲皇太后御歌の碑、詩人で葉山の名誉町民になられた故堀口大学先生の歌の碑もある。（紙面の関係でほんの一部を紹介しました。）

花はいろ 人はこころの歌碑ありて
岬の波は 早春のきらめき（愛岳）

（入） △△

558 乙津書一（滝の坂） 葉山町下山口五〇四一の二

（電） 〇四六八（75）七三八二

559 田中ちよ（稗山） 逗子市逗子五〇五一二七

（電） 〇四六八（71）七二五四

（退） △△

392 植木孝夫（堀内D） 416 山川美穂（堀内E）

420 横山好美（稗山B） 438 高橋雪子（長柄）

碩心会58年初吟会会計報告

(58・1・16 於 逗子京急ビル・ホール)

収 入 の 部			支 出 の 部		
摘 要	金 額	備 考	摘 要	金 額	備 考
会 費	751,000	2900x259	会費借上料	160,000	
寄 附	25,000	指導者会	飲物持込料	28,000	
祝 儀	33,000	常盤先生	心 付	7,000	
		新田	弁 当	345,800	1300x266
		石渡	つ ま み	79,800	300x266
		鹿島	み か ん	14,400	2400x6(ケズ)
		小林	ビ ー ル	37,100	5300x7(ケズ)
		加藤(岳相)	飲 一級酒	3,320	1660x2
		金指(萌夙)	物 1合びん	53,200	200x266
計	809,100		ジュース	18,620	70x266
現品寄附			景 品 代	8,000	
笠原商店様より 清酒			看板名札その他の礼	4,000	2人
担当支部より 景品			招待先生への車代	15,000	5人
御招待の先生 下記の通り			会 議 費	4,000	
松井岳洋先生 岡嶋岳鳳先生(欠)			お 茶	1,200	
常盤岳湘			コ ヒ ー 代	6,720	
鹿島久岳			消 耗 品 代	900	紙、22係袋、封筒、その他
新田岳悠			通 信 連 絡 費	1,500	
小林繁舟			担当支部への持込	10,000	
石渡岳道			雑 費	1,900	病人送りタクシー代、打合せ代、その他
(以上7名様)			本部会計へ繰入	8,640	
			計	809,100	

58・1・20

以上の通り報告致します。

担当支部代表 下山口支部 沼田義風 (印)
 色 A 佐藤魁山 (印)
 杉南 渡辺誠風 (印) 企画部長 千葉香岳 (印)